



http://www.wakakei.com/

Wakakei2017

若き経営者の会 ニュース会報

発行所
若き経営者の会
総務部
発行責任者
篠田義仁
事務局：宇都宮市鶴の島町7-31
(株)美建築設計事務所
TEL 32-3450
FAX 34-2016

4月定時総会・懇親会

総務部 近藤 正史

今年の4月定時総会では昨年OBの方からご指摘頂いたゆっくり食事がしたいとのご意見を参考にし、アトラクションを玉丹さんの生演奏のみとしていつもより歓談時間を多めにとりゆっくり食事や会話を楽しんで頂けるよう工夫しました。

また今回は役員紹介も部長のみとして各部長の抱負や意気込みを語ってもらいました。自分で言うのもなんですがスマートな4月定時総会が行えたと思います。

12月総会では樋口副会長が30年度の新会長に就任され、また新役員も入会して間もないメンバーを採用するなどして新しい力を持った役員構成で30年度を迎える準備ができました。

また30年度は45周年となり大きな周年事業が行われる年でもありその実行委員長に茂山直前会長が任命されました。

12月総会ではメンバー選出のドラフト会議の間に茂山実行委員会より今まで先輩方々が行われた周年事業を紹介してもらい45周年事業への意気込みを熱く語って頂きました。

周年事業が大成功になろう事を切に願います。



担当例会

総務部 藤村 貴志

総務部では、9月14日（木）に9月度担当例会を行いました。

講師には宇都宮を中心活動されている片づけパンダこと中村美夕紀先生をお招きして「ムダをなくして業績アップ」と称し、会社の整理整頓についての考え方をレクチャーしていただきました。

片づけができるにより、時間的効果・経済的効果・安全面の効果が生まれ、会社にとってのメリットがどれだけあるかを今までの経験で話して頂き、良く理解することができました。なかなか物を捨てきれない自分にとって、これから無駄をなくしていくために片づけを雑務と思わず、自社の業績アップにつなげていきたいと思います。

今回の例会では主席者も24名と、会員の関心も非常に高かったようでうれしく思います。その反面、総務部の集合時間の遅れや、準備不足によって会員の皆様にご迷惑をおかけしたことをこの場を借りてお詫びしたいと思います。

近藤部長、事務局、部員とで充実した一年を送ることができ、本当に良かったです。

7月例会

教育部 本谷 陽平

株式会社プラーナ 坂本耕平氏をお迎えして、「経営理念と活用方法」と題し、企業理念とはそもそも何なのか、理念の必要性、考え方や作り方のポイント、自社への浸透と活かし方など、プラーナさんや他社の例も挙げるなどされ、丁寧にご説明いただき有意義な例会になりました。

この例会でお話を聞くだけ、作ることだけがゴールでは意味がない。また、理念にはこれという正解はない。自分で考え、自分の言葉で作り、理念が会社に魂を吹き込み、自らが先頭に立ち率先垂範する。それが風土となり社員が自然と動きだす、というところまでがゴールなのだと教えていただきました。

その中で、自分がいない場所でも社員が理念を基に意識・行動してくれるようになり、だれが何をどのようにやっても結果がでるようになる。社員が自分で考え、行動し、修正し、結果を出すという点で、組織の仕組み化や組織作りの根底



にあたるのではないかと思います。

経営理念とは、企業の目的である「永続すること」に深く関わり、とても重要だと確信でき大変勉強になりました。自社の理念を見つめなおすことができ、よい機会を与えて頂きました。ありがとうございました。

一泊研修

教育部副部長 田中 裕一郎



平成29年度教育部では10月28・29日に熊本へ参りました。

阿蘇でのノルディックウォーク体験、平成28年に発生した熊本地震の復興の現状を知り熊本へ行く事で復興の一端を担えれば、という目的で一泊研修を年度初めに企画致しました。事前に現地調査には行かずメディア・紙媒体だけでの情報収集で復興は既に快方へと向かっていると判断し一度は開催場所の変更を検討しましたが、役員会等でアドバイスを頂き熊本へと事前調査へ参りました。ところが現地熊本で地元の方々から聞こえてくる声、現地の建物の倒壊状況は快方へ向かっていると言った私たちの考えとは違った物でした。私たち同様に震災以来、熊本を訪れていない会員にも現状を知って頂こうと一泊研修は改めて熊本へと決定し事業を進めていく事としました。

今回の事業目的の一つである、ノルディックウォーク体験は外で行う事業である事から天気を心配しておりました。一週間前に台風22号発生の発表がされ当日、直撃する恐れもあり開催出来るのか出来た場合でもノルディックウォーク体験は可能なのかを確認する為、前日に熊本へ行き、ノルディックウォーク講師の松坂先生と打ち合わせをし、色々な状況を想定して幾つかプランの御提案を頂きました。

当日、台風の進路も少しずれ開催するに至りました。熊本城の見学、懇親会、雨は強くありましたが滞りなく終わり、2日目のノルディックウォーク。念の為、打ち合わせしていた雨天時のプランを採用し、従来の予定では講師の方と開催場所での合流でしたが、ホテルから開催場所までの移動のバスに同乗して頂き道中、ノルディックウォークの説明、さらには震災時の貴重な、お話を拝聴する事が出来ました。心配した天気は雨も降らず怪我も無く無事、終える事が出来ました。

最後に事業を終え事前の調査・準備・不測の事態への対応が重要だという事を改めて感じ、講師を受けて下さった全日本ノルディックウォーク連盟の松坂先生はじめ、ご協力賜りました全ての方へ、この場を借りて厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

11月例会感想

教育部 山縣 義昭

11月例会では私、ファイナンシャル・プランナーの山縣が、専門分野である資産運用について「経営者のための老後資金対策」と題して、お話させて頂きました。

経営者個人にとっても、会社にとっても欠かす事のできない「お金」の知識について、なるべく分かり易くお話させて頂いたつもりですが、いかがでしたでしょうか？

インフレの事、金利の事、税金の事、投資の基本など、知っている人は知っているが、知らない人には目からウロコのお話もあったのではないでしょうか？

この例会がきっかけとなって、皆様が今以上に「お金」というものに関心を持って頂き、ご家族、社員さん達が「お金の心配のない人生」を実現する事が出来たのだとすれば、私も大変うれしく思います。

このような機会を与えて頂き、心より感謝致します。

平成29年度教育部全体感想

教育部部長 赤坂 潤

平成29年度教育部は「成長から老後まで」をスローガンに一年間例会を務めてきました。こちらのスローガンには、会社を繁栄させるために日々成長するだけではなく、物心共に豊かな老後を過ごすことが大切であるとの思いが込められています。

その為の必要な要素として、次の項目に注目しました。健康、人間関係、会社の成長、将来の経済安定、楽しみの五項目です。健康は自宅で出来る体幹トレーニングとノルディックウォーキング、人間関係はペップトーク、会社の成長は企業理念と経営計画、将来の経済安定は資産運用、楽しみは自宅ができるリフレッシュについて学びました。

翌日から即実践できる内容や、色々な挑戦が必要な内容等ありました。いずれも講師が多大な努力を注いで経験してきたことをお話し頂き、私達の心に大きく響く内容であったと思います。学んだことを実践に落とし込み、日々の改善に繋げていこうと改めて思いました。

最後に、ご多用にもかかわらず講和して頂いた講師の方々に改めてお礼を申し上げます。

フリーマーケット

企画部 石丸 直樹

7月30日。ときわ公園で開催されたフリーマーケットに出店いたしました。

新たな取り組みとして初のフリマ出店。本当に売れるのか。最低でも出店費用は回収しないといけない。そんな思いを抱えながら事前の下見、打ち合わせ、出品準備などを入念に行いました。会員の皆様からは、洋服をはじめフィギュア、自転車、絵画など、予想以上そして意外性のある出品物を数多くご提供いただき、心より感謝申し上げます。

フリマ当日は天候に恵まれすぎた猛暑の中でスタート。フリーマーケット常連さん達は、イベント開始前早朝から下見をし、スタートと同時に交渉開始。掘り出し物をどんどん買い付けて行かれました。殺到するお客様と値引き交渉に圧倒され、かなりの値引きを許してしまった品もありましたが、その後は順調に売り上げを伸ばすことが出来ました。

同時に販売していた焼きそばは、猛暑のため売れ行きが悪く、かき氷も、競合店の価格が安かったため目標販売数に届きませんでした。フリマ出品物は1/3が売れ残ってしまいましたが、こちらは想定以上の売り上げを上げることが出来ました。販売商品の選定、店舗レイアウト、ラッピング、顧客層のセグメントなど、フリマ事業を通じて本業では経験することのできない販売という事業を真剣に考える機会をいただけました。皆さんのご協力あってこそこの成功です。本当にありがとうございました。



(くすのき夏祭り) 出店事業について

企画部 内田 義裕

8月にくすのき夏祭り出店事業を行いました。個人的には出店の作業（かき氷販売）については経験済で有る為、販売のイメージは出来上がっていましたが、盆明けの涼しい時期に入ってしまった事等により、目標を大きく下回る結果となってしまいました。意気込みとは大きく隔たりが生じた為、少し残念でした。焼きそば販売においても作業メンバーの結束力が見られ作業効率も良くスムーズに箱詰めまでは良かったものの、これも目標を大きく下回る結果となってしまいました。天候・時期の条件、集客予測、販売方法等の検討も今後の課題として残ってしまいましたが、作業のイメージはメンバーが変わっても紡いで行けるような感じはしましたが、かき氷・焼きそばだけではなく、天候等に左右されない物、集客が見込めるような目玉（作業は簡単である方が良いが）を検討してみても良いと思いました。最小の経費で最大の効果が得られる様又皆で意見を出し合えればと思います。

1月担当例会について

企画部 安本 誠一

平成30年1月15日宇部市文化会館にて、企画部1月担当例会を実施しました。

講師に山口県健康福祉部 医療政策課 医療対策班の判野哲也氏をお招きし、がんを取り巻く現状、がん検診に関する知識、がん検診の目的、がん検診の種類と特徴、がん検診受診後の対応、がんの予防対策、山口県のがん対策、がん検診県民サポーターの活動などについて受講し、受講者には認定手帳とちよるるバッチを交付して頂きました。

この度の研修を通じてがんに関する知識が増し、早期発見が大事で、それにはがん検診が最も有効であると知り、経営者として自分自身・家族・職場の定期的ながん検診の受診の促進に役立てる事が出来たと思います。また早期発見でがんは克服出来ると知り、経営者としてサポートする事で、企業の宝である人材を失う機会を減らしていくことにも貢献できた例会だったのではないかと思います。



平成29年度貢献事業

企画部 春日 智貴

今年度は貢献事業と致しまして、ゆめタウン宇部にて献血を行う予定です。

現在、医療機関で必要とされる全ての輸血用血液製剤は、献血によって確保されています。しかし、山口県においては、ここ数年若い世代を中心に献血者が減り続けており、特に20代、30代については5年前から比べ約35%減少しております。この状況を知り、私達に何か出来ないかとの思いから献血をする事としました。

開催日を人が多い日曜日に設定して、同世代の会員が声掛けをしたり、事前に献血紹介カードを配布したり、お楽しみとしてガラポン抽選をして、若い世代を中心にできる限り多くの献血していただくことを目標として事業の準備を進めています。

一泊家族会

企画部 波多野秀紀

今年の家族会は長門市油谷にある宿泊施設を拠点に、海や自然を感じてもらおうと思い一泊家族会を計画しました。一日目はシーカヤック及びBBQ・花火を実施して、二日目は海辺でシーグラスを採取・加工する体験を行いました。

普段の日常生活の中で、なかなか経験のできないアトラクションを通じて会員・家族間同士の親睦をより深めていただけたのではないかと思います。また、自然環境を通じて大人と子供が密接な交流を図ることができたのもこの企画ならではだと思います。

初日のシーカヤックではインストラクターが常駐の体験だったのでしっかりとレクチャーもあり有意義な体験ができました。二日目のシーグラス体験も加工を行う工程をスケジュールに入れていたので、各自オリジナリティも發揮出来、また退屈する時間もなく楽しんでいただけたのではないかと思います。

この家族会での担当部の想いは『自然豊かな環境で忘れられない一日を是非過ごしてほしい』という思いを込めていたので事業を無事に終えたときは非常に達成感を感じました。

私たちが手掛けた一泊家族会を一生のうちで少しでも心の中で残り続けてくれたら非常に幸いに思います。この度はご参加頂きまして誠に有難うございました。



文化部担当例会

文化部 山本 剛

平成30年2月14日、新年度も始まり巷では「バレンタインデー」と賑やかな頃、我が文化部では「知っておきたい葬祭マナー」と題し、若き経営者の会例会を開催した。

講師には地元宇都市で長年葬祭業を営われている株式会社櫻井葬儀店、専務取締役 櫻井智徳氏を迎えた例会を行いました。

例会では、事前に各部より質問を頂いておりました。一つは最近の家族葬はどんなものか、もう一つは葬儀をしない場合はどのようにしたらよいか、最後に我々の年代での終活のしかた、と我々経営者にとって、取引先、身内等、今後葬儀に参加や葬儀を行う事が有るであろう昨今、切実な質問内容でした。

会社を束ねる長として、一社会人として大切な方を送る儀式に恥じることなくマナーを学べ、自分自身も色々考えさせられる大変有意義な例会でした。

正直考えたくはありませんが、自分の家族や、大切な方を送る際、我々経営者は冷静に対応しなければなりません。そこで、普段勉強する機会がなかなか無いような事ではありましたが、今回の例会で、それぞれの経営者として、一社会人としてのスキルが上がったのではないかと思います。

今回講師として、例会の準備から我々の質問に真摯にお答えくださいました、株式会社櫻井葬儀店 櫻井専務には感謝の念に堪えません。

平成30年度 奥様研修会～味噌づくり教室

文化部 瀧口 堅太

近年、オーガニックだったり有機素材だったりと体の健康ブームに対してメディアで取り上げられることが多いと思います。そこで我々文化部では奥様研修会に何ができるか検討した中で、有機素材にこだわった味噌づくり教室を行うことに決定しました。きっかけは、僕の妻が実際に今回の講師である、「うずまき Life Art」の宮崎知美先生の味噌づくり教室を体験しており、楽しそうに体験した後も自宅で友達と作ったりしていたからです。作ってもらう側としても安全でおいしく自分の味を作ってもらえるので大変ありがとうございます。会社を経営されている皆様方にとっても、体の芯から健康になるということはとても大切なことではないでしょうか。昔では味噌づくりをすることは当たり前でどこの家でもその家の味を受け継いできたそうです。しかし、現代ではほとんどそういうことがなくなり、こういった昔ながらの体験をすることにより、ぜひ自分流の味を探してもらい、また子供たちに受け継いでもらえるきっかけとなれば幸いです。

